

【例題一大卒教養4】

近年の日本の電力事情に関する次の各記述中の下線部分ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ・ 日本国内の原子力発電所は、東日本大震災以降順次停止し、1基も稼働していない状態が生じた。その後、停止した原発の一つであった九州電力の川内原発1号機は、ア原子力規制委員会による新規制基準の策定が間に合わなかったため、政治判断により再稼働が許可され、2015年8月に再稼働した。これにより「稼働原発ゼロ」の状態が終わった。
- ・ 再生可能エネルギーによる発電については、太陽光などで発電した電気の買取りを電力会社に義務付けた再生可能エネルギー固定価格買取制度が2012年から始まった。これにより2014年にかけて最も発電設備の導入が進んだのは、イ太陽光、風力、地熱のうちでは風力であった。この制度では、ウ買取価格の負担は家庭や企業の電気料金に上乗せされており、発電設備の導入が想定以上に進んだため、国民負担抑制の必要が生じていた。このことなどから、政府は2015年、制度の見直しに着手した。
- ・ 電力システム改革が進められている。2016年4月、電力供給システムの小売部門について、東京電力や関西電力など10大電力会社による地域独占が廃止され、一般家庭の消費者も電力を購入する際に電力会社を選べるようになった。一般家庭に電力小売を行う事業者として登録されているのは現在、エ10大電力会社だけであるが、従来の供給地域を越えた顧客獲得競争が始まっている。電力供給システムの送配電部門は今後、オどの電力事業者も公平に送配電設備を使えるように、10大電力会社から分社化されることになっている。

1. ア, イ
2. ア, エ
3. イ, オ
4. ウ, エ
5. ウ, オ

(正答) 5